

## 教育委員会表彰 教育の振興と発展への貢献を表彰

3月1日、教育委員会表彰式が市役所で行われ、教育の分野で活躍された方々が表彰されました。受賞者は次の通りです。(敬称略)

【大会関係】※写真：上

- ◆渡邊 観明 (大越小学校 6年)  
(第36回福島県児童画展 児童画展賞)
- ◆郡司 幸 (常葉中学校 3年)  
(第18回「家やまちの絵本」コンクール 住生活月間中央イベント実行委員会長賞)
- ◆船引中学校合唱部  
(第74回全日本合唱コンクール東北支部大会 中学校部門同声合唱の部 金賞)
- ◆箭内 汐音 (船引中学校 3年)  
(第65回福島県中学校体育大会陸上競技大会 共通女子100mハードル 第2位 (全国大会出場))
- ◆船引中学校陸上競技部  
(第65回福島県中学校体育大会陸上競技大会 共通男子4×100mリレー 第2位 (全国大会出場))
- 【スポーツ少年団指導 20年以上】※写真：下
- ◆雨谷 勝彦 (滝根バレーボールスポーツ少年団)
- ◆渡辺 祐一 (都路スポーツ少年団)
- ◆坪井 真里亜 (都路スポーツ少年団)
- ◆箭内 邦雄 (船引サッカースポーツ少年団)



- ◆柳沼 照栄 (船引サッカースポーツ少年団)
- ◆久保田 貞徳 (大越剣道卓球スポーツ少年団)
- ◆大山 正一 (美山スポーツ少年団)
- ◆松本 武 (美山スポーツ少年団)
- ◆松本 貴晴 (ふねひきミニバスケットボールクラブスポーツ少年団)

## 緑小学校 閉校イベントを開催しました

3月5日、閉校イベント「ありがとう緑小学校 未来へ羽ばたけ！うつしの里」が開かれました。児童による鼓笛演奏やバンド演奏、鏡田辰也アナウンサーの「ふれあい授業」、地元婦人会による創作劇、あぶくま混声合唱団と児童の共演、東京フィルハーモニー交響楽団首席トランペット奏者川田修一さん率いる「トリオK」の演奏など、盛りだくさんの内容でした。エンディングでは児童が学校に感謝状を贈呈し、学年ごとに学校や地域、自然、友達、家族、先生へ感謝の言葉を伝えました。参加者や地域にとって、大切な最高の思い出となりました。



## たむら地方観光連絡協議会設立 田村地方の新たな観光振興を目指して

3月20日、市役所で田村地方3市町の官民が連携して観光振興に取り組むことを目的とした「たむら地方観光連絡協議会」の設立総会が開かれました。会長に市長が選任され「本協議会を呼び水として、田村地方により多くの方にお越しいただける事業を展開していきます」と意気込みを語りました。観光客の誘致に向けて、田村地方3市町が連携した事業を展開していきます。

### ●会員募集

観光事業に関心のある事業者・個人を募集します。詳細は観光交流課 ☎81-2136 へお問い合わせください。



## 春季全国火災予防運動 常葉町内一斉巡回『カンカンデー』

田村市消防団常葉地区隊では3月1日から7日に実施された春の全国火災予防運動に合わせ、同月1日に消防車両による常葉町内の一斉巡回を行いました。農作業や山菜採りなどで野山に入る機会が多くなることで、たばこのポイ捨て、たき火が原因と考えられる火災が発生します。外での作業の際は、火の取扱いに注意し火災を出さないよう、火の用心を呼びかけました。  
参考：2022年度全国統一防火標語  
「お出かけは マスク戸締り 火の用心」



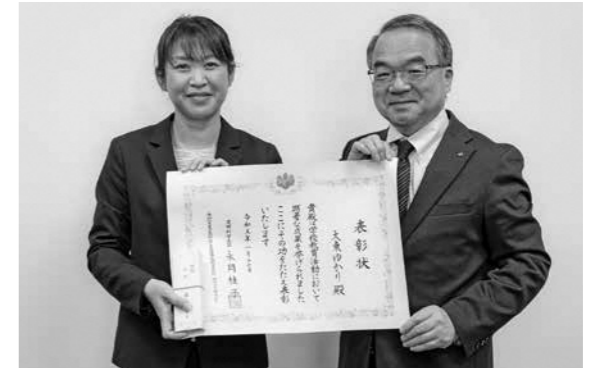
## 市消防団女性部 救急救命訓練を実施

田村市消防団では女性消防団員が所属する女性部が編成されています。2月19日、田村消防署で常葉地区隊と大越地区隊の女性部合同での救急救命訓練が行われました。参加した団員は、有事の際に市民を助けるために必要な技術について、消防署員より指導を受け、一人一人真剣な態度で訓練に臨んでいました。  
訓練終了後、団員たちは他地区の団員との交流を深め、女性目線での消防談話に花を咲かせました。



## 文部科学大臣優秀教職員表彰 船引中学校 大東ゆかり教諭が受賞

2月27日、市役所で「令和4年度文部科学大臣優秀教員表彰」を受賞された、船引中学校の大東ゆかり教諭へ教育長から賞状が伝達されました。  
大東教諭は、体育の時間、タブレットを使った先進的な授業づくりや、生徒に寄り添った教育相談や生徒指導、さらには陸上部の顧問として、複数の種目を全国大会に導くなどの数々の実績が評価され、今回の受賞となりました。



## 常葉・大越公民館合同事業 たのしいスケート教室

2月25日、常葉アソベンチャークラブ、大越のびのびチャレンジスクール合同の「スケート教室」が郡山スケート場で開かれ、親子23人が参加しました。  
はじめに、郡山スケート協会のインストラクターから滑り方や止まり方、転び方などを教えてもらいました。1周400mのリンクを自由に滑ったり、いすを使って滑ったりと親子は、転びながらも楽しく滑ることができ、楽しいひとときを過ごしていました。

